

いきいきこどもプラン 現状と計画 (抜粋)

子育てを応援する地域づくり

子育て支援センター
市内9か所にあり、交流や親子の遊びの場として、だれでも利用できます。

子育てサークル
市内で約60団体が活動しています。年齢や地域などに応じて、参加しやすい団体を紹介します。

子育て力・教育力のアップ

- ・相談体制の充実
育児に不安を抱える人の相談や、子育ての仲間づくりを支援します。
- ・保育体験など、中高生のころから乳幼児とふれあう機会を推進します。

相談事業

児童虐待などの相談が急増していることから、4月から、市にも児童相談窓口を設けています。

これまでどおり児童相談所でも相談を行います。

「これは虐待ではないだろうか」などと感じたときは、ためらわずにご相談ください。

子育て事業課 (TEL 21-2211 内線 4511) および各支所健康福祉課
出雲児童相談所 (TEL 21-0007)

施設名	電話	開設日・開設時間など
いずも子育て支援センター (塩冶町)	21-5772	月~土曜 9:30~16:00 (休館:日曜、祝日、第3月曜)
ひらた子育て支援センター (平田町)	63-3129	「おもちゃの部屋」月~木曜、土・日曜 9:30~16:30 「たんぼぼ教室」毎週金曜 (休館:年末・年始)
さだ子育て支援センター (佐田町須佐)	84-1850	月~金曜 8:30~17:00 (休館:土・日曜、祝日)
たき子育て支援センター (多伎町小田)	86-2711	子育てサロン「わくわく広場」毎週2回(火・金曜) 子育て相談(月~土曜)
こりょう子育て支援センター (湖陵町二部)	43-2621	月~金曜 9:00~16:30 「子育てサロン」 毎週火・木曜 9:30~12:00
たいしゃ子育て支援センター (大社町杵築南)	53-2666	月~金曜 10:00~18:00 土曜 8:30~12:30 (休館:日曜、祝日)
中央保育所「れもん組」(今市町)	21-0597	月曜日~土曜日 9:30~11:30 (休館:日曜、祝日)
つどいの広場	新町あかちゃんルーム (今市町)	21-1496 月~金曜 9:30~16:00 (休館:土・日曜、祝日)
	さんびーの広場 (中野町)	24-9872 火・水・木・金曜 9:30~16:00 (休館:月・土・日曜、祝日)



仕事と子育ての両立支援

保育所や児童クラブ
認可保育所は38園、下校後の児童を預かる児童クラブは25か所開設されており、今後増設を進めます。

働き方の見直し
職場優先の意識や固定的な性別役割分担の意識を解消するよう労働者や事業主などへ意識啓発を図ります。

計画の実現に向けて
いずも次世代育成支援地域協議会の塩飽邦憲委員長は「これらの目標の実現に向け、中山間地や市街地など、それぞれの地域特性に合わせた施策を行うことが重要です。行政ですべてに取り組むことはできません。子育て中の人たちがのびのびと子育てできる環境をつくるため、市民の協力も欠かせませんね」と話します。

だれもが子育てに喜びを実感できる社会の実現を目指し、地域との協働により、この計画を着実に進めていきます。

核家族化や共働き家庭の増加、少子化など、子どもと子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化しています。子どもの成長と子育てを社会全体で支援し、安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりを目指した『いきいきこどもプラン~いずも次世代育成支援行動計画』。合併を前に2市4町が共同で策定しました。今週は、この内容についてお知らせします。



市内で認可保育所の受入児童数は約3,400人。10年後には、3,780人まで増やし、入所待機児童ゼロを目指します。また、5月には市内初めての本格的な夜間保育所が開設され、保護者の多様な保育ニーズに応える体制が整います。写真は元氣いっぱい須佐保育所(佐田町須佐)の園児たち

健やかな子どもたちの未来を築く

『いきいきこどもプラン~いずも次世代育成支援行動計画』を策定

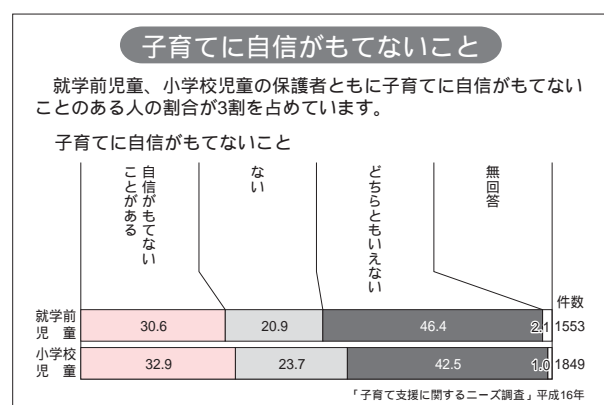
楽しく子育てしていますか
昨年4月、出雲市・平田市・佐田町・多伎町・湖陵町・大社の2市4町は、合同で子育て中の保護者を対象とした住民アンケート(有効回答数3,402人)を行いました。

その結果によると、子育てに自身がもてないことが「ある」と答えた保護者は就学前児童の保護者で30.6%、小学生の保護者になると32.9%に上っています(右グラフ参照)。

また、日ごろ悩んでいることとして、「子どもを叱りすぎているような気がする」との回答がもっとも多く寄せられました。

これらの悩みや不安を解消するためには、周囲に相談したり、子育て支援のサービスをうまく利用したりすることが必要です。

いきいきこどもプランとは
子どもを育てる上で、家庭の果たす役割は大きなものです。



しかし、家庭だけで子育てをすべて抱え込むのではなく、行政をはじめ企業・職場や地域が一体となって、子育て家庭を支えていかなければなりません。

そのため、福祉・保育や事業所などさまざまな立場の代表からなる「いずも次世代育成支援地域協議会(塩飽邦憲委員長・25人)」を昨年10月に設置。次の世代を担う子どもたちが健やかに育つための環境を整える取り組み「をまとめたのが『いきいきこどもプラン』です。11月に概要を公表し、応募のあった約40件の意見を反映させ、この計画を策定しました。

『いきいきこどもプラン』概要版は子育て事業課や各支所の健康福祉課でお渡しします。市ホームページにも掲載しています。

子育て支援についてのおたずねは
子育て事業課
(TEL 21-2211 内線 4511)